

## 5 飛鳥の朝廷

### 東アジアの動向とヤマト政権の発展 34~35P

- ① **大伴氏の後退**：対朝鮮政策の失敗(伽耶西部を\_\_\_\_\_に支配権を確立された)を非難された\_\_\_\_\_が失脚。朝鮮半島での高句麗・新羅・百済等の位置関係を確認。
- ② 物部氏と蘇我氏の対立  
先進文化と仏教受容賛成 → \_\_\_\_\_  
伝統重んじ仏教受容反対 → \_\_\_\_\_  
6世紀末、朝廷内の権力闘争ピークに。  
★592 \_\_\_\_\_は \_\_\_\_\_を滅ぼし**崇峻天皇**を暗殺(馬子の命を受けて暗殺したのが**東漢直駒**)
- ③ \_\_\_\_\_**天皇** 最初の女帝。 \_\_\_\_\_で即位。  
★摂政： \_\_\_\_\_・大臣 \_\_\_\_\_が国政担当



#### 論点

#### 厩戸王

\_\_\_\_\_天皇が出るとすれば厩戸王の父ぐらいしかない。

- ①603 \_\_\_\_\_才能・功績に応じて個人に冠位を与える  
冠の色で序列 徳・仁・\_\_\_\_\_・信・義・智を太小に分ける

※紫・青・赤・黄・白・黒

- ②604 **憲法十七条** 制定 → 豪族への心得

#### 史料研究 憲法十七条 (日本書紀)

- 一に曰く、和を以て貴しと為し、忤(さから)ふることを無きを、宗となせ。…  
二に曰く、篤く三宝を敬へ。…  
三に曰く、詔を承りては必ず謹め。…  
十二に曰く、国司(くにのみこと)・国造・百姓(ひやくせい)に斂(おさめ)とること勿れ。…  
十七に曰く、それ事は独断すべからず。  
→「二に曰く」の三宝とは何か! \_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_である。「十二に曰く」の条文の意味を簡潔の論述する問題が東大で出題。ここでの百姓は \_\_\_\_\_の意味である。

#### 遣隋使 ここが大事!

『 \_\_\_\_\_ 』には、600年に遣隋使が派遣されている記事があるが、日本書紀にはない。隋書倭国伝の多利思比孤は男性の名だとすれば厩戸王が正解。600年に遣隋使が派遣なら、小野妹子は最初の遣隋使ではない。607 \_\_\_\_\_: **小野妹子**を派遣 ⇒ 史料◎ → \_\_\_\_\_は対等外交を無礼とする翌年、答礼使: \_\_\_\_\_と共に帰国  
遣隋使に同行した2名は絶対!  
留学生 \_\_\_\_\_・学問僧 \_\_\_\_\_・ \_\_\_\_\_が、小野妹子再渡航 608  
頻出事項! この2人、大化の改新時**国博士**になっているが \_\_\_\_\_は国博士になって \_\_\_\_\_。隋からの使者が \_\_\_\_\_であること確認。

614…第4回 \_\_\_\_\_派遣

④国史の編纂: 『天皇紀』『国記』 → 現存せず

#### 史料研究 74♥ \_\_\_\_\_天皇 \_\_\_\_\_古代国家と宮都 早稲田への日本史3

古人大兄皇子、謀反の企てありとして討たれる。

飛鳥板蓋宮から撰津国@645 \_\_\_\_\_へ遷都

- 問1. 「大業3年」とは西暦★★★★年である。  
問2. 「多利思比孤」の有力な候補者は★★★★と★★★である。(北海道大)  
問3. 「使者」とは★★★★をさす。(法政)  
問4. 「海西の菩薩天子」とは★をさす。(同志社)  
問5. 「日没する処の天子」とは★をさす。  
問6. 「帝」とは★★★★をさす。(日本大)  
問7. この史料の出典は★★★★である。

#### 飛鳥の朝廷と文化 36~37P

飛鳥文化…朝鮮半島の \_\_\_\_\_・ \_\_\_\_\_、中国の \_\_\_\_\_時代の文化的影響を多く受け西アジア・インド・ギリシアの文化ともつながる特徴を持った文化である。  
蘇我馬子創建の飛鳥寺は \_\_\_\_\_とも呼ばれ、平城京に移って元興寺となった。  
ここに住んだ \_\_\_\_\_は高句麗の僧で厩戸王の師でもある。

秦氏…広隆寺は創建が秦河勝。

#### 氏寺の建立 氏寺こそ飛鳥仏教のキーワード

- (a) \_\_\_\_\_ (法興寺): \_\_\_\_\_の発願  
(b) \_\_\_\_\_ (斑鳩寺)・ \_\_\_\_\_  
→ \_\_\_\_\_の発願



広隆寺半跏思惟像

(c) \_\_\_\_\_: **秦河勝** 広隆寺の半跏思惟像と**中宮寺**の半跏思惟像の区別はお団子二つとウルトラセブンで決まり。  
舒明天皇創建と伝えられる百済大寺は後に \_\_\_\_\_となり、平城京造営後は \_\_\_\_\_となった。  
法隆寺若草伽藍跡の発掘成果から、現存の金堂・五重塔などは → \_\_\_\_\_もの。  
\_\_\_\_\_により**法隆寺金堂** \_\_\_\_\_像が作成される。  
飛鳥文化を代表する北魏様式の金銅像。

「隋書」倭国伝  
開皇二十年、倭王姓は阿每、字は多利思比孤、阿輩鷄彌と号す。使を遣し闕に詣る。…:大業三年、その王多利思比孤、使を遣わして朝貢す。使者いわく、「聞く、海西の菩薩天子、重ねて」を興すと。故に遣わして朝拜せしめ、兼ねて沙門數十人、来りて仏法を学ぶ」と。その「国書」にいわく、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子にいたす。恙なきや、云々」と。帝、これを覽て、悦ばず。「鴻臚卿」にいっていわく、「蛮夷の書、無礼なるあらば、またもつて聞するなかれ」と。明年、上、文林郎「 \_\_\_\_\_」を遣わして倭国に使せしむ。



Pain is inevitable Suffering is optional

法隆寺玉虫厨子は宮殿部と須弥座の側面に仏教説話の絵画が描かれている。須弥座右側面の\_\_\_\_\_がよく出る。天寿国繡帳は厩戸王の死後、妃の\_\_\_\_\_が作らせた。天寿国は王が往生したとされる国。

\_\_\_\_\_の僧\_\_\_\_\_→曆法  
\_\_\_\_\_の僧\_\_\_\_\_→彩色・紙・墨の技法を伝える。



蘇我入鹿

7世紀半ば：**蘇我蝦夷・入鹿**が権力掌握

643 ✖ \_\_\_\_\_自殺追い込まれる（厩戸王の子）

645 ✖ \_\_\_\_\_（蝦夷・入鹿滅亡）皇極讓位し、弟・軽皇子が幸徳天皇として即位

**天皇** 古人大兄皇子、謀反の企てありとして討たれる。

飛鳥板蓋宮から摂津国@645 \_\_\_\_\_へ遷都

### 大化の改新 38~39P

618 隋の滅亡・\_\_\_\_\_の成立\_\_\_\_\_し、周辺諸国を軍事的に圧倒していきます。唐から帰国した留学生・学問僧は、その最新情報を日本にもたらしました。

### 論点

①年号と遷都：初の年号 645 を大化元年、東アジアの動乱に備えるため、都を飛鳥から難波に遷都。

②基本方針：\_\_\_\_\_646 を発し、公地公民制・班田収授法など中央集権国家建設の基本方針を明示。

問 1. 空欄にそれぞれ適語を記せ。

訳 第一に、これまでの歴代の天皇が設定した子代の民や屯倉、とりわけ豪族の臣・連・伴造・国造・村首らがもっていた部曲や田荘を廃止しなさい。そのかわり、大夫以上には食封を冠位に応じて支給する。それ以下の下級官人と百姓には布帛を支給する。第二に、都の制度を新設し、畿内・国司

\*720年成立の『日本書紀』には、646年に出された改新の詔の内容として4項目が記されている。これは701年に完成した大宝律令による文章の書き加えの部分がある。例えば第2条の地方行政区画について、「国・郡・里を置く」とされているが、この当時に郡はなく、郡にあたる行政区画は「\_\_\_\_\_」と記していたことが近年藤原京跡の発掘調査で発見された\_\_\_\_\_から明らかになっている。これを**郡評論争**という。まあこの詔には新しい国家的支配を成立させようと

大化改新の詔  
「其の一に曰く、昔在の天皇等の立てまへるは臣・連・の民、処々の国造・村首の別には臣・連・の民、処々の国造・村首の別有るは臣・連・の民、処々の国造・村首の別よ。仍りてを大夫より以上賜ふこと各差あらむ。降りて布帛を以て官人・百姓に賜ふこと差あらむ。其の二に曰く、初めて京師を修め、畿内・国司・郡司・関塞・斥候・防人・駅馬・伝馬を置き、及び鈴契を造り、山河を定めよ。其の三に曰く、初めて\_\_\_\_\_を造れ。其の四に曰く、旧の賦役を罷めて田の\_\_\_\_\_を行へ。」  
（『日本書紀』）

する精神があるね。

### 律令国家への道 39~40P

① ✖ \_\_\_\_\_663 : 日本は唐・新羅連合軍に大敗

この頃朝鮮半島では、唐と新羅の連合軍によって、百済が滅ぼされてしまった（660）。百済がなくなると朝鮮半島における足場がなくなると考えた日本は、百済を復興させるために軍隊を派遣したが、唐・新羅の連合軍に大敗北を喫する（663、\_\_\_\_\_）。この戦いのあと、唐や新羅がいつ日本に攻めてくるかわからないので、中大兄皇子は急遽国防の強化に全力をあげる。このとき、北九州に水城・防人を設置したことがセンターではポイントになる。

664 新羅侵攻に備え、大宰府の北に堤として\_\_\_\_\_を作り、対馬・壱岐に\_\_\_\_\_（=のろし）を置き、\_\_\_\_\_の制を設け筑紫に置く。

さらに翌年には大宰府北方の山上に\_\_\_\_\_山城の\_\_\_\_\_城を築く。大宰府の南側に\_\_\_\_\_基肄城を築く。

667 中大兄皇子、飛鳥から\_\_\_\_\_へ遷都し、正式に即位する。

### ②天智天皇

斉明天皇が661年に没して、天智天皇が668年に即位するまで天皇は空位であった。この間は 中大兄皇子の\_\_\_\_\_であった。

天智天皇の\_\_\_\_\_は持統天皇期の**庚寅年籍**との区別が大事。

天智没で→672 ✖ \_\_\_\_\_の乱

### ○大海人皇子 VS ✖大友皇子

大海人皇子が\_\_\_\_\_に移り東国豪族たちの軍事動員に成功したことを押さえておきたい。

### ③天武天皇

\_\_\_\_\_で即位した。この時期の政治を\_\_\_\_\_と呼ぶ。天皇の称号が開始された。伊勢神宮が国家的な祭祀の対象となった。諸豪族の身分秩序を天皇中心に再編成するため「**八色の姓**」の最上位が\_\_\_\_\_は覚えておきたい。

富本銭の鑄造では\_\_\_\_\_から33枚が発見された。同じく池から天皇号が書かれた木簡も。

### ④持統天皇

飛鳥浄御原令が\_\_\_\_\_され\_\_\_\_\_を作成し民衆の把握に努めた。国史の編纂開始→『\_\_\_\_\_』の完成。

藤原京…三代の天皇の都であり、三代を答えさせるのが早稲田大で出た。**持統・文武・元明**だね。宮の周囲に条坊制を持つ京がもうけられた。



伊勢神宮